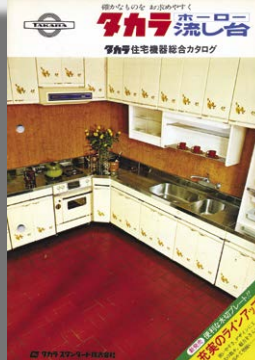


Takara Standard News

2018 Spring Vol.5

半世紀を超えて。



愛され続ける
ホーローシステムキッチン。

2018年2月、東京・大阪の2会場でお得意様新春懇談会を開催し、経営方針を発表しました。



信頼度No.1を 獲得するために。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

来年5月に元号が改められ、実質的に今年が平成最後の年になります。バブル経済の崩壊からはじまった平成は失われた20年・停滞の20年ともいわれ、日本人にとってあまりよい時代ではなかったように感じます。しかし、私の見解は少し違います。

現在の日本は平等で自由、安全な国です。高齢化にしても、優れた医療体制・衛生環境によって平均寿命が伸びたことが大きな要因。企業も苦しい時代はありましたが、競争力を取り戻しつつあります。

また、平成の時代には、社会インフラや住環境が大きく整備されました。東京や大阪などの都市は近代的な建物が立ち並ぶとともに魅力ある街づくりがなされ、住環境においても快適性・安全性・省エネなどを追求した日本の住宅は、どの国と比べても勝るとも劣らないレベルになっています。今の日本は、世界でもっとも豊かで安定した社会だといっても過言ではないでしょう。

タカラスタンドも、水まわり機器事業を通じて日本の住生活レベルの向上に貢献してきました。そのことは我々の大きな誇りです。



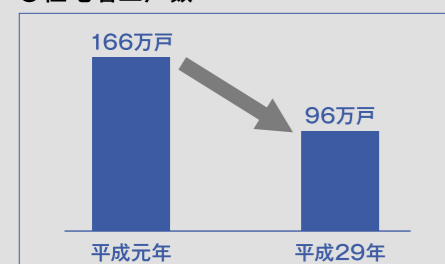
タカラスタンド株式会社
代表取締役社長 渡辺 岳夫

1 住宅市場の動きとタカラスタンドの売り上げ推移

数量縮小の時代に、 売り上げを倍増。

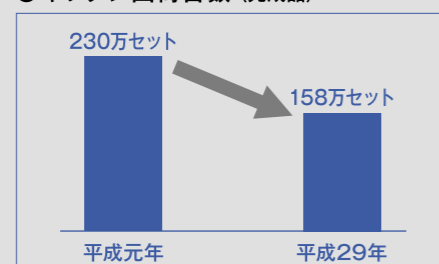
水まわり業界にとって、平成は数量縮小の時代。平成元年に約170万戸あった新設住宅着工戸数は現在100万戸を下回り、約半減の状況です。これに伴ってキッチンの「メーカー完成品出荷台数」も大きく減少。平成元年の230万セットに対し、平成29年は160万セット弱しか出荷されていません。このように平成の約30年間、市場環境はとてつもない厳しい状況でした。しかし、タカラスタンドは堅調に成長し続け、売上規模は約900億から約1,800億へと倍増しています。

●住宅着工戸数



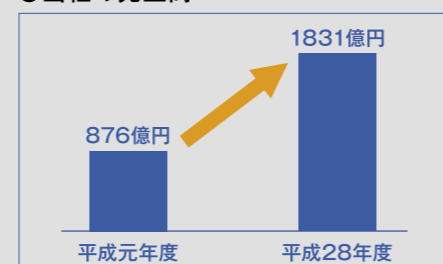
出典:国土交通省

●キッチン出荷台数 (完成品)



出典:キッチンバス工業会

●当社の売上高



2 売り上げ拡大の要因

時代の流れとニーズに合った 商品開発で、選ばれるメーカーに。

タカラスタンドが売り上げを拡大できた大きな要因は、商品力です。平成の時代、メーカーの再編や淘汰によって需要調整が進みました。そのなかでタカラスタンドは高品位ホーローという他社にはない魅力を持った商品を販売することでお客様からの支持を獲得し、勝ち残ってきました。時代とともにお客様の暮らし方が多様化し、ニーズも様変わりしました。生活機器に機能性やデザイン性が求められるようになり、水まわり商品でもシステム化や高付加価値化が進展。システムキッチンにおいては業界全体の出荷台数は平成元年から現在で2倍以上、システムバスも大幅に増加しています。

そんなお客様ニーズに対応すべく、タカラスタンドはホーロー技術を生かした高品質なシステム商品を開発。時代の流れに乗り、事業拡大につなげたのです。

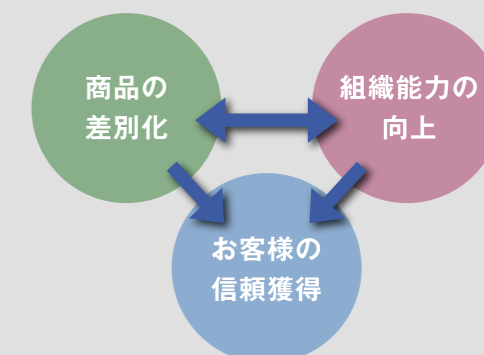
■タカラスタンドが選ばれたポイント

- (1) メーカーの再編・淘汰による需要調整が起こるなか、高い商品力で成長
- (2) 水まわり商品のシステム化・高付加価値化にマッチした商品を開発

3 タカラスタンドの基本戦略

競争の激しい市場環境のなかで成長していくために、タカラスタンドは基本となる3つの戦略を掲げています。

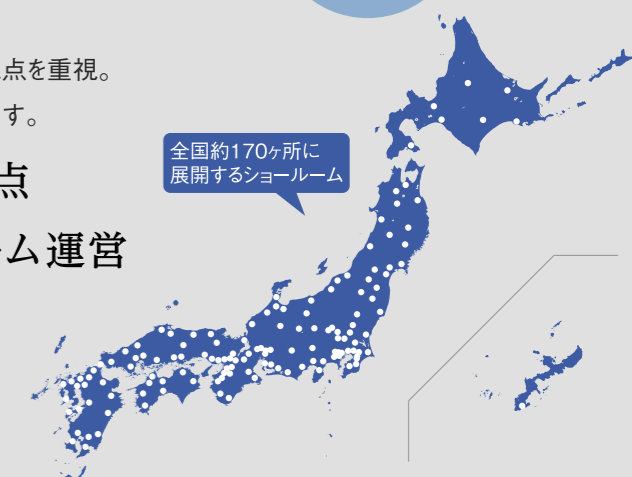
- (1) ホーロー技術による商品の差別化
- (2) 組織能力向上による競争優位性の確保
- (3) お取引先様・ユーザー様の信頼を獲得



タカラスタンドは「お客様からの信頼」が何よりも大切だと考え、お客様視点を重視。お客様との距離が近い、地域に密着したコミュニケーションを実践しています。

信頼の基盤

- (1) 地域に根ざした営業拠点
- (2) お客様本位のショールーム運営
- (3) 透明性の高い価格政策



タカラスタンドはこれからも、お客様からの期待と信頼に応え、暮らしの質の向上に貢献できるメーカーであり続けるよう全力を尽くしてまいります。

誕生から半世紀を超える、 ホーローシステムキッチンの

進化と未来

誕生!

キッチンにイノベーション!
日本初のホーロー流し台



昭和42年
ホーロー流し台 <E型> 発売

ホーローキャビネットのカラー化に成功。
インテリア性の高いキッチンに。



昭和47年
ホーロー流し台<R型(ロイヤル)> 発売

美しく輝く世界最高水準のホーローを実現。
オイルショックの中でも大ヒット!



昭和52年
高級ホーロー流し台<エマーユ> 発売

ついに誕生!

時代のニーズに応える
ホーローシステムキッチン



昭和60年
タカラホーローSK
<ニューシステムC型> 発売

新技術「窯変ホーロー」による工芸品のように
美しいホーローシステムキッチンが登場。



平成2年
最高級ホーローシステムキッチン 初代<レミュー> 発売

さらに進化!

「ホーロー家事らくキッチン」を実現。
暮らしの質を高める最高級キッチン。



平成29年
最高級ホーローシステムキッチン 3代目<レミュー> 発売

1967~

1972~

1977~

1985~

1990~

2017~



開発部長 小田 泰三

「キッチンに付加価値を!」
その発想がイノベーション。

1967年、タカラスタンダードは世界初となるホーロー流し台を発売しました。それまでのものは木製キャビネットが傷みやすかったことから、先人たちは「より付加価値のあるキッチンをつくりたい」と考えて耐久性に優れたホーローで開発。その発想を持てたことがイノベーションだと私は思います。ホーローシステムキッチンは掃除しやすい、頑丈。バンバン使っても大丈夫

[from Takara Standard]

お客様の「使いやすい」を追求して、
ホーローシステムキッチンは進化する。

です。一度でも体験いただくと便利さを実感できるので、リピーターがとても多い。「母親が使っていたから私も」というように世代を超えて支持され、おかげさまで誕生から半世紀以上たった現在でも愛され続けています。

キッチン
家族団らんの場にしたい。

ホーローシステムキッチンはさまざまな進化を遂げていますが、すべてはお客様にとっての「使いやすさ」を追求した結果。現在のホーローシステムキッチンに取り入れている「ホーロー家事らくキッチン」もそうです。よくキッチンワーク

といいますが、ワークとは仕事。台所仕事の負担を軽減することにこだわり、お手入れ・収納・調理の「3つのらく」を叶えました。近年は、デザイン性も格段に向上。精緻な図柄を再現できる「ダイレクトクリア製法」の開発で、多彩で美しいバリエーションが揃っています。キッチンのあり方は時代とともに変化し、昔は部屋の隅にあったものが今は中心に置かれている。だからこそ、キッチンをもっと家族団らんの場にしたいと思っています。自然と家族が集って料理に参加したくなる、そんな製品を開発したいですね。



沖縄タカラ住設 代表取締役社長 根路銘 安也さん

50年前、ホーローの質に惚れ込んで
取り扱いを決めました。

当社は1968年、タカラスタンダードの前身である日本エナメル株式会社と沖縄地区の総代理店契約を結びました。当時の沖縄は日本復帰前。完成品だと関税がかかるため部材として仕入れ、現地で組み立て販売しました。そうまでして取り扱いたかった理由は、素材となるホーローとステンレスの質の高さに先代が惚れ込んだから。

[from Partner Shop]

ホーローシステムキッチンに
タカラスタンダードの製品とメーカー、
両方の魅力を感じます。

沖縄タカラ住設

1966年に創立し、タカラスタンダードとは50年ものおつきあいになる沖縄地区の代理店。

「質のいいキッチンを県内に普及させたい」という思いがあったようです。ホーローシステムキッチンは、「壊れない」「汚れない」「色褪せない」。ホーローシステムキッチンの魅力は、何といっても高品位ホーロー。「壊れない」「汚れない」「色褪せない」で長持ちするから、当社には37年以上前に販売したホーロー流し台<ロイヤル>を今も使われているお客様がいます。ここ10年くらいは機能的な進化も

目覚ましいですね。「ホーロー家事らくキッチン」は使いやすく、お手入れが簡単。デザインのバリエーションも増えているので、お客様に提案しやすくなりました。タカラスタンダードは、メーカーとしてのサポートも充実。古い部品もしっかりあります。キッチンは10年・20年と使うもの。「製品とメーカー」両方の魅力を持つホーローシステムキッチンで、これからも自信を持っておすすめしたいですね。

北海道

沖縄

全国展開の地域密着型SRだからこそ、できる提案があります。



北海道支店長 山形 勝

北海道支店 [札幌駅前ショールーム]

「鋳物ホーロー浴槽」のあたたかさと肌触りのよさは、北海道のお客様に好評です。



ますし、ヒートショック予防にもつながることから体感いただくと、「これはいいわね」と喜ばれます。

「鋳物ホーロー浴槽」の魅力を、もっと伝えていきたい。お客様からのご意見でお聞きするのは、鋳物ホーロー浴槽の肌触りの心地よさ。浴槽は肌に直接当たるものですから、敏感に感じ取られるようです。もちろん温浴効果が高く、体の芯まであたたまることも高評価を得ています。鋳物ホーローは実際に触れることで伝わる魅力も多いので、ショールームで効果的に訴求していきたいですね。

ホーローの特性を活用したタカラスタンダードの製品は、北海道のみなさまの住生活をもっと快適にできると考えています。展示などのハード面と接客のソフト面を充実させ、より地域に密着した提案ができるよう邁進していきます。

浴室全体があたたかいシステムバスは、自信を持っておすすめできます。

断熱性能の飛躍的な向上により、北海道でも新築住宅の保温性はとても高い。しかし、築の古いお家には暖房の行き届かない場所が残っています。リフォームでは、「浴室が寒い。あたたかくしてほしい」といわれることが多いですね。そんなご要望にお応えできるのが、タカラスタンダードの「パーフェクト保温」です。洗い場や壁、天井にいたるまで保温材で包み込んでいるから、寒い季節でも浴室全体がポカポカ。北海道のお客様に、自信を持っておすすめしています。また、脱衣所をあたためられる「洗面ルームヒーター」も大人気。省スペースで設置でき

■様々な工夫で、「見て触れて納得」していただけるショールーム作りを目指しています。

■緑のあるショールームがお客様にも好評です。



沖縄支店 [那覇ショールーム]

「ホーローシステムキッチン」は、高温多湿の沖縄に最適。そのことを丁寧にお伝えしたい。



沖縄支店長 仁田 範之

湿気やお手入れの不満を解消できる。ホーローは他社にない大きなメリット。

沖縄は高温多湿な地域。湿気でキッチンにカビが発生し、傷むことを不満に思っているお客様はたくさんいます。その不満点をアンケートやヒアリングでしっかり引き出し、湿気に強く長持ちするホーローの魅力をお伝えすると、お客様の関心はグンと高まります。また、ホーローシステムキッチンは沖縄の風習にも適しています。こちらでは行事ごとに「うふやー」と呼ばれる長男宅に集まり、食卓を囲みます。大量の料理をつくる時に活躍するのが、機能的な「家事らくシンク」。プレートを置くことでシンクが作業スペースになり、みなさんで効率よく調理できます。さらに、沖縄料理は油を使うものが多く、キッチンやレンジフードの汚れも気になるところ。サッと拭くだけでキレイ

になるホーローは手入れの不満も解消でき、他社にはないメリットを感じていただけます。

沖縄の暮らしに最適な製品であることを、心をこめて提案していきたい。

ホーローシステムキッチンをはじめとするホーロー製品は、どれも沖縄の地域環境に合っています。しかし、どんなにいいものでもお客様から共感を得られないと伝わりません。お客様が望む夢の暮らしを実現するのがショールームの役割。「おひとりおひとりのご要望に寄り添い、心をこめて丁寧に対応する」。その意識を沖縄支店・那覇ショールーム全スタッフが持ち、これからも沖縄のみなさまに最適な水まわりをご提案していきます。

■「かりゆしウェア」を着たアドバイザーは地域密着ならではの、お客様との距離も近づきます。

■沖縄らしい「花ブロック」がお客様をお迎えます。



Pick
Up
News

東京都港区浜松町に公共・商業施設やオフィス向け内装材

エマウォール専用ショールーム

OPEN!!



専務取締役 関東直需支社長
小淵 研治

昨年秋、「エマウォール」に特化した完全予約制の「浜松町ショールーム エマウォール展示フロア」を新設しました。本ショールームは駅やホテル受付といったテーマを設けて空間展示。ホーローと他素材の組み合わせや照明による見え方の変化など、実現できる空間を具体的にイメージできるよう工夫しています。おかげさまで、開設以来たくさんの方にご来場いただき、体感されたお客様からの口コミで評判が広がり途切れることなく予約が入っています。エマウォールインテリアタイプは「ダイレクトクリア製法」と呼ばれるインクジェット印刷を施したホーロー内装材で、機能性・デザイン性が高く、さまざまな空間を自在に演出できます。ショールームでは今後もエマウォールの可能性を追求し、新しい発想の提案をしていきますので、是非ご来場いただき他のショールームには無い魅力を実感してください。



■店舗カウンター：ナチュラルな雰囲気の中に、黒を基調とした大胆な「クリスマスローズ」をディスプレイ。



■鉄道コンコース
ホーローと他素材を組み合わせ、グリーンを基調とした、和を感じさせる駅構内。



■クリニック受付
抗菌ホーローを用い、ホーローの特性を提案。クリーンで落ち着く空間を演出。



■ホテル寝室（ダブルルーム）
異なる絵柄をレイアウトし、モダンな空間を提案。

Takara standard

「きれい」と暮らそう、高品位ホーロー。

2018年春号（第5号）
2018年3月発行（年2回発行）
発行 Takara standard タカダ株式会社
〒536-8536 大阪府大阪市城東区鶴野東1-2-1
tel.06-6962-1500